

ミサワウッド③

用途・1

新しい木素材「ミサワウッド」とは

木そのものを利用し、ミサワホームのハイテク技術から生まれたのが、新しい木素材ミサワウッド(MW)です。木のやさしさはそのままいかしプラスチックのよい点を加えて、高い安定性、均一性、加工性、耐久性などすぐれた品質と性能を実現しました。

木材のリサイクルをはかり、環境保護にも役立つ木素材です。

MWの特性は以下のとおりです。

①トータル・コーディネイトができる

耐久性、加工性など、さまざまな点ですぐれているMWは、面材や柱材としてはもちろん、湿気や水分が気になる場所など、これまで木材を使いにくかったところにも使用可能です。このため空間のすみずみまで心地よい木調で高品位にトータル・コーディネイトできるようになりました。

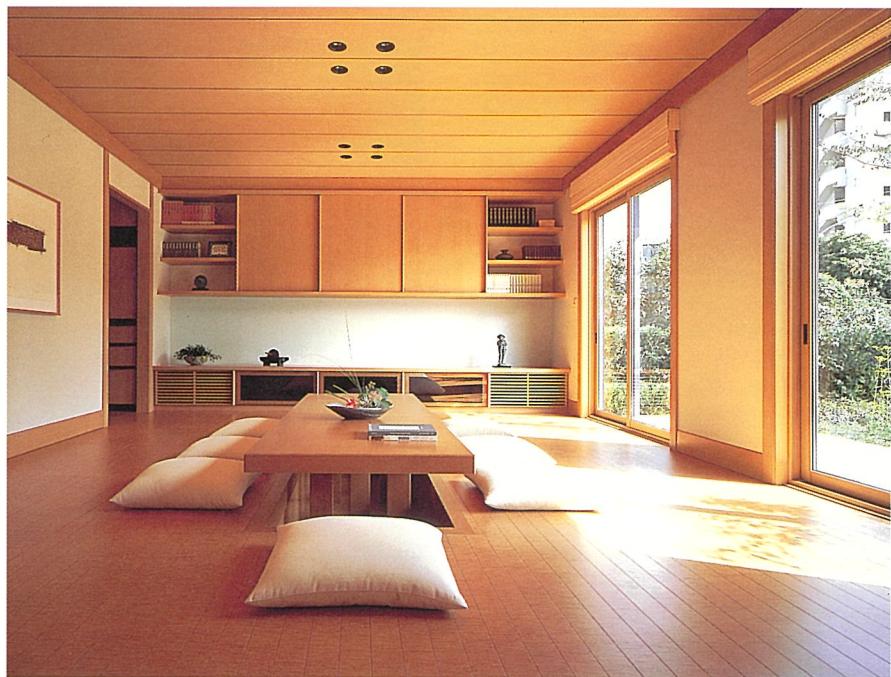
②木材より優れた耐久性での使用拡大

木にくらべて伸縮率が小さく、水に強い特性を持ち、断熱性にもすぐれたMWは耐久性・耐水性などの面で木を使いづらかったサッシ枠でも使用できます。また玄関の上がり框や土間など、汚れやすく濡れやすい場所にもMWを採用。水をかけてゴシゴシ洗え、手入がぐんとラクです。

この他の水回りの浴室、台所、洗面、トイレにも十分対応できます。



MWの玄関枠



MWのサッシ枠(アルウッドサッシ)を用いた例

③優れた加工性によりデザインが変わります

MWは長さも形も自由に造型でき、曲げる・ねじるといった加工が容易です。例えば階段の段板全体に凹凸をもうけて滑りにくい階段にしたり、ムクの木では難しい1本通しでの連続手摺を作り、途中で握りかえることなく、安心して階段を昇り降りできる安全な階段を作ることもできます。

木目はもちろん、肌ざわりまでも木そのもののMW。説明しなければ、本物の木材と区別がつかないかもしれません。この特徴に加えて、加工性にもすぐれているため、日本建築で伝統的に採用されてきた、柱の高級面取り“几帳面”も、鮮やかに再現できます。また、デザインの太い巾木も、MWならムリなく実現することができます。

ミサワウッドを使った部品

①水回り部品

オリジナルバスでは壁、天井とも木素材MWで作った白木調板材を採用しました。「木」の持つ独特の風合いをそのまま活かし、自然の温もりと安らぎに包まれた空間が造りだされ、御影石調の床にマッチしています。

サニタリー及びトイレではMWを壁付きの手摺に採用しました。手触りも見た目も天然木の風合ですが、継ぎ目のない手摺を作り、また、形状加工も自由に行えます。しかも水に強いので化粧台回りで使用するには最適の素材といえます。もちろん抗菌剤入りです。



連続手摺



トイレの手摺



段板のリブ形状



白木調仕様のオリジナルバス

②ミサワウッドと複合化した部品

サッシはアルミ製が一般ですが、サッシは熱伝導率が高く、室内的熱が逃げやすいのが欠点です。それにたいして、アルウッドサッシは内側が断熱性に優れ、結露も防ぐMWを用いた複合サッシです。ガラスも複層構造で、断熱性はアルミサッシの約3倍に向上しています。

内側はMWによって、インテリア性に優れたデザインになっています。室内からの景観は、まるで木製の額縁で外の景色を切り取ったような、ピクチャーウィンドウ効果が生まれます。また高気密・高水密性が外気による内側の冷え込みを防ぎます。

アルウッドサッシの現在の種類は引違いテラスサッシ、引違いサッシ、FIXサッシ、縦辻サッシ、出窓サッシ等があります。

③ミサワウッドによる内部部材の品揃え

心地よい木調の高品位のインテリアを実現するため、細部までこだわりをもって造りました。

内部作成材は木素材MW(チェリー色)をふんだんに使うことで、全体的に温もりのある柔らかな感覚を表現させました。とくに上がり框や側板、階段などを幅広い作成材で構成することで、気品とセンスにあふれた空間が実現できました。

④内部ドア

内部ドアはインテリアの大きな構成要素であると同時に、50年間に55万回開閉するといわれる住宅部品です。それほどの開閉回数に耐えるには安全・耐久性に優れた素材を吟味し、しかも使い手の立場にたったワイドな寸法と機能、そして飽きの来ない優れたデザインが求められます。

MW(チェリー色)を使用した内部ドアをつくり、実験を繰り返して、耐久性のすぐれた仕様を実現しました。天然木の風合いが各部屋の個性を豊かに表現できるよう、いろいろな要求に合わせて選べる秀麗なバリエーションを作りました。

代表的な内部ドアを説明しますと、和洋戸襖は片面が和風、片面が洋風になっている戸襖です。和室とリビングが続き間となっている場合もインテリアのデザインをそこなうことはありません。またリビング側は、上から下まで1本の引き手にしているため、小さなお子様でもラクに開閉できます。

⑤MW枠材

ドア枠をはじめ、付柱や巾木、廻縁などの作成材に木素材MWをふんだんに使用しています。木独特のやさしい風合いが部屋全体に満ちて、ここから安らげる空間を演出します。木そのものを素材として利用し、ハイテク加工技術を駆使して生み出したMWは、木の持つやさしさ、色調、風合いをそのままに、優れた耐久性を実現しています。プリント材とは異なり、削っても内部まで同じ木目、色柄が通っています。

今回柱材に採用した面取りは平安時代に几帳の柱に多く使われた面取りを語源にし、几帳面の面取り寸法は平安期、江戸期と次第に細くなり、面取りの種類も微細化しました。ミサワの採用した平安几帳面は、さらに精巧な造作を実現したものになっています。これもMWの優れた加工性があったから実現できました。



アルウッドサッシの内と外



玄関



MWを多用したダイニングルームとリビングルーム



洋間廻り縁

